

2018年秋季年末闘争・組織拡大

CTG の 建交労道本部闘争速報

2018年11月21日／第16号

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL 011-711-7377
FAX 011-711-7388
e-mail / kenkoro-do@nifty.com

北海道鉄道本部が大会 JR北海道で働くすべての労働者の処遇改善を 「建交労」誌の全員購読

11月17日、北海道鉄道本部の第19回定期大会が役員・代議員など27人が参加して開かれました。大会では、道本部の森国委員長、全国鉄道本部の相木委員長、「北の鉄道存続を求める会」の小室事務局長から激励のあいさつを受けました。提案された議案では、1年間の職場と地域での活動、北海道の鉄道を守るとりくみ、安倍9条改憲を許さないたたかいなどの活動報告と、「組織の拡大・強化」「職場・地域での要求闘争の推進」「国民的課題での共同・野党共闘の推進」の3本のたたかう柱にもとづく運動方針が提案されました。討論では、JR北海道で働くすべての労働者の処遇改善、地域の仲間とともに鉄道を守る運動をはじめとする諸活動に奮闘すること、全組合員で署名のとりくみをすすめて「ゼロ」をなくすこと、来春の知事選挙をはじめとする選挙闘争、「建交労」誌の全員購読などの方針を確認しました。

新役員には、竹田吉宏委員長、加藤豊副委員長、最上暢書記長などを再選しました。

年末一時金 3 職場組織が要求提出

小樽一般労組光合金支部／札幌地域支部北海定温分会
札幌合同支部リヴィノールシステム分会

小樽一般・カイゲンファーマ支部が妥結

小樽一般労組光合金支部は、11月5日に「基本給の1.5か月分」の年末一時金要求を提出しました。札幌地域支部北海定温分会は、年末一時金（1.1か月×出勤率）と燃料手当（世帯主6万円、準世帯主4.8万円）の要求を11月5日に提出しました。札幌合同支部リヴィノールシステム分会は、11月14日に年末一時金要求（正職員＝2.0か月分／準職員2.0か月分／パートナ－職員2.0か月分／継続雇用職員一律3万円／アルバイト職員一律3万円）を提出しました。

小樽一般労組カイゲンファーマ支部では年末一時金について、年間協定で月例賃金（職能給＋職務給）の2.2305か月分で妥結しています。

札幌ダンプ支部が大会

札幌ダンプ支部は11月18日に第33回定期大会を開催しました。田家委員長はあいさつで「ダンプキャラバンで現場の状況を訴えた。キャラバンの参加者が固定化されつつあり、今後より多くの現場の声を行政に伝えるため、組合員がキャラバンに参加してほしい」と求めました。議案の提案では「使用促進」運動の進捗状況等が報告されたほか、労災保険の特別加入などのメリットを活かして組合員の拡大をはかることなどについて全会一致で採択されました。最後に、再選された田家委員長の音頭で「団結がんばろう」を三唱して大会を終了しました。